

## 目黒区納税貯蓄組合連合会優秀賞

### 地方税ってなんだろう？

目黒区立第十中学校 三年

植松 龍喜

みなさんは「税金」って聞いて、どんなイメージがありますか？僕は最初、「大人が毎月しぶしぶ払っている、取られていくお金」っていうイメージでした。なにか悪い魔法みたいに勝手にお金が消えていくやつです。でも社会の授業で「税金がないと困る」って聞いて、「え？取られない方がうれしいんじゃないの？」って思いました。そこで僕は気になり調べてみたら、とっても面白いことが分かりました。税金にはいろいろな種類があるけど、その中に「地方税」っていうのがあります。これは、国に払う「国税」とはちがって、自分が住んでいる市町村や都道府県に払うお金です。つまり、「地元をよくするためのお金」ってことなんです。例えば、道路。僕が塾のときデコボコの道があったんですけど、いつのまにか工事されてツルツルになってました。あれも地方税のおかげです。もし地方税がなかったら、僕は毎日つまずいて転んで、リュックサックからテキストをぶちまけていたかもしれません。そう考えると「ありがたい地方税！」って思っています。それから学校の図書館。僕はあまり図書館を使わなければ、新しい小説や参考書が入ってきます。これも地方税で買われ

ているそうです。もしなかったら、学校の生徒みんなボロボロの古い百科辞典で「インターネットって何？」みたいなページを読んでいたかもしれません。さらに、ごみ収集。朝出したゴミ袋をおじさんたちがトラックで持っていくてくれます。もしこれがなかったら、町中がゴミだらけになって、夏はカブトムシどころかハエだらけになるでしょう。そう考えると、地方税ってけっこうヒーローなんじゃないかと思えます。でもヒーローって目立たないと、あまり人気が出ません。地方税も、ちゃんと使われているのを目立たないから「ただのお金の取り立て」みたいに思われるのかもしれない。僕はここで提案します。「地方税が使われたところにシールを貼る！」作戦です。道路に「この道、地方税！」学校の本に「この本、地方税！」ゴミ収集車に「走る地方税！」みたいに書いたなら、みんなもつと感謝すると思います。ちよつとダサイけど、分かりやすいはず。最後に、僕が思ったことを話します。地方税って、僕たちの生活を支えてくれる「縁の下」の力もち。みたいな存在なんだと思います。なくてもすぐには気づかないかもしれないけど、なくなったら毎日がとんでもなく不便になるはず。これからも地方税には頑張ってもらって、僕はそれを使って快適に生きていきたいです。だから将来、大人になって働いたら、僕もちゃんと地方税を払っていいこうと思います。ですが正直、できれば「払った人にポイントカード」みたいな制度があるともっと楽しくなるだろうし、人々からの印象を良くできて、楽しくなるんじゃないかなと夢見ています。